

酪農

とちぎ



弥生

二十年振りの「寒冬」による厳しい寒さも緩み、春の便りが聞えて参りました。山間部に今も残る多くの雪量が、今年の冬を物語っています。山沿いでは例年以上の降雪が続き、家屋の被害が心配されましたが、本県においては倒壊などの被害がなかったことは幸いです。

皆様におかれましては、確定申告も終え、昨年の収支が明確化されたと思えます。収支のバランスを参考に、問題点を明確に把握し改善に努めるよう願います。また、春の農作業の準備など多忙な毎日と察しますが、農機具の確実な点検・整備に努め、春の農繁期に備えて下さい。



平成十七年

乳代集計からの 結果について

生乳生産実績は昨年と比較すると、経産牛頭数の減少（約三百二十頭）と、一年間で十八戸（昨年十二戸）の出荷戸数減などの諸事情により、三、〇九七七の減（平成十五年並の生産量）となりました。

十五年と比較しますと、出荷戸数の減（三十戸）及び経産牛減（約四百頭）にもかかわらず生産乳量が同等であることは、飼養管理技術の向上による個体能力アップの成果と考えます。また育成・未經産牛も百四十頭増加しているのは後継牛の確保が進んでいるものと思われます。支所別での値を見ますと、県南支所管内で増産が達成でき、一戸当りの増産量は約一万三千kg・平均生産量は三十四万六千kgと、昨年同様な積極的増産が数値にも表れております。

の導入と体細胞数奨励金の増額、乳質向上により前年と比較すると約三十八銭向上しております。

乳質については、夏場の影響から無脂乳固形分率が若干下降しましたが、脂肪率については昨年並み、細菌・細胞数についてはそれぞれ向上し、日頃の乳質管理の成果が表れています。支所別乳質平均値は、脂肪率については那須高原支所、無脂乳固形分は県南支所、細胞数は宇都宮支所が好成績を収めました。

飼養頭数は、九月同期の前年と比較すると約百四十頭増加し、約三万九千百頭（一戸あたり約五十五頭）となりました。しかし経産牛は酪農中止者の増加、初妊牛価格が高値推移していることから、約二万九千九百十頭（三百二十頭減少）でしたが、一戸あたりの経産牛頭数は、〇・五頭増頭となりました。

経産牛一頭当りの乳量は平均で七、九四六kgとなり、昨年並みに推移しています。支所別の成績は、宇都宮支所の平均が八、二四一kgとなり、次いで、県南支所・那須

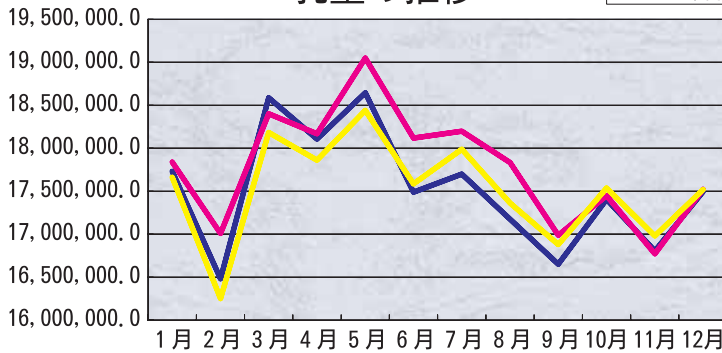
高原支所の順位となります。

一戸当りの乳量は、若干の増頭数により三、〇九六kgの増加となりましたが、経

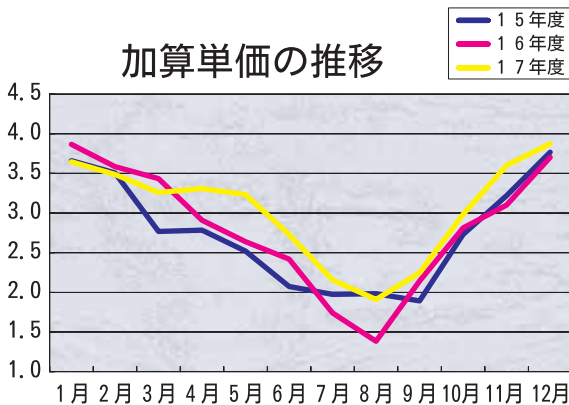
出荷戸数	16年	17年	増減
那須高原支所	426	421	- 5
宇都宮支所	141	135	- 6
県南支所	159	152	- 7
合計	726	708	- 18

産牛頭数の確保と個体能力の向上が求められるところですが、支所毎の成績は県南支所平均三四六、四九三kg昨年と比較し約一

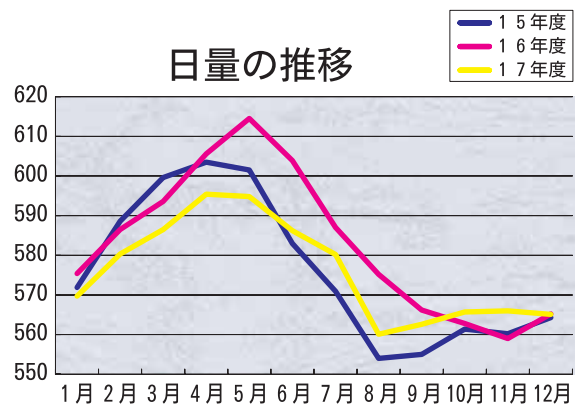
乳量の推移



加算単価の推移



日量の推移



三、六二八kg増加)となり、那須高原支所、宇都宮支所の順位となりました。

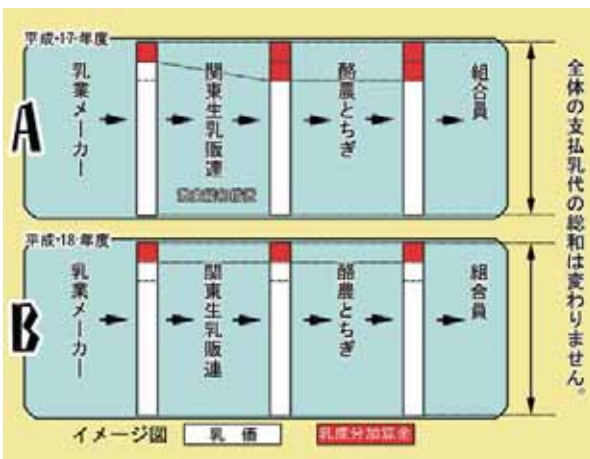
十七年の集計結果をふり返りますと、酪農中止者の増加と経産牛の減少が生産量減少の要因になっておりますが、一昨年並の生産量を維持出来たことは、各組合員のご努力の賜であり感謝するところでです。また、前年同様、県南支所管内の積極的な増頭・増産が

生乳乳質保全規定の一部改正

先にお知らせしましたように、「生乳乳質保全規程」が一部改正され、四月一日より変更になります。改正部分については、現行の合格乳脂肪率・無脂固形分の格差を半減し、この半減分を基本乳価に加算するものです(イメージ図参照)。

四月分乳代より変更されるので、五月十七日支払分からの実施となります。

進められており、収支も同様に向
上しております。初妊牛の導入価
格は、依然高値に推移し、この状
況は今後しばらく続くことが予想
されますので、自家育成と預託に
より後継牛を確保することが適切
と考えます。また、個体能力の向
上・安定化を確立しコスト削減を
進め、安定した収入を得られるよ
うお願い致します。



第二十七回栃木県首都圏農業経営コンクール 皆川美範・由美子夫妻(那須烏山市)が 最優秀賞を受賞

第二十七回栃木県首都圏農業経営コンクールの表彰式が宇都宮市の県総合文化センターで行われました。このコンクールは隔年に開催されますが、今回は六部門に計四十二の農家・法人がノミネートされ、経営の安定性、栽培・飼養技術などについて審査を受けた結果、酪農部門より本組合員の皆川美範・由美子夫妻(那須烏山市)が最優秀賞を受賞しました。



受賞を受け、二月二十八日に祝賀会が行われました。祝賀会には地元市長を始め、各関係機関や仲間の酪農家が出席し、その中で皆

川さんは「このような賞を頂くこ
とが出来たのは自分ひとりによる
ものではなく、酪農仲間や各関係
機関の力添えがあったからこそで
あります。私は就農時に少しでも
早く酪農技術を自分のものにしよ
うと、実習先や、諸先輩方々に教
わりながら自分の目線で考え試行
錯誤を繰り返してきました。そし
て、両親から経営を任されたこと
で、経営者としての苦労や酪農技
術と経営が車の両輪として回るこ
との重要性を痛感いたしました。

今後今回の受賞におこるること
なく目標に向かって牛飼いをするこ
とが皆さんへの恩返しであり、ま
た、消費者に理解される酪農を目
指し日々精進して行きたいのでこ
指導・鞭撻をお願いします。」と挨拶を述べ、皆川さんの謙虚かつ意
欲的な性格がうかがえました。

受賞をこころよりお喜び申し上げ
ます。

組合購買利用推進女性研修会

去る二月十五、十六日の二日間、鬼怒川温泉 ホテルニュー岡部に、組合購買利用推進女性研修会を（参加者二百名）開催いたしました。この研修会は、組合購買事業の利用に対する感謝と、購買事業に対するご意見等を頂き、更なる利用推進等を図ることを目的に実施しました。

当日は、春を思わせるような暖かい日に恵まれ、心配された降雪による日程の遅れもなく、各支所から定刻に会場へ到着されました。到着の後に組合取引メーカーの展示場を見学し、組合職員、取引先



メーカーの担当者から商品の案内や説明等を受け、組合で取り扱っている製品の安全・安心をあらためて確認して頂きました。

その後、懇親会が開かれ前田組合長より組合事業利用の感謝と更なる利用拡大のご協力と近況の酪農情勢報告があり、続いて協賛メーカーの挨拶を受けた後、菊池副組合長による乾杯を牛乳で行い開宴となりました。懇親会では、イベント・大抽選会などを通じ、参加者相互の親睦を深め合い、むすびは相馬副組合長が閉会の挨拶を行い、盛会裡のうちに終了しました。初めての試みである研修会でしたが、貴重なご意見と笑顔に接することが出来ました。組合では研修会で得られた皆様のご意見ご要望を念頭に、更に安全・安心な生産資材の供給を推進して参りますので、更なる利用拡大をお願い致します。

乳製品消費拡大キャンペーン

近年の牛乳乳製品全体の消費減少は、過剰なバター・脱脂粉乳の在庫をさらに増加させております。在庫をさらに消費拡大を進めて、酪農組合・乳業メーカー共に消費拡大を進めておりますが、未だ解決はされておられません。この状況を緩和すべく、組合員・役員自ら乳製品を消費することで、現状の把握と消費拡大を進めることとなりました。

二月のキャンペーンにおいては、本趣旨をご理解頂き、バター約三千六十kg・チーズ約三千八十kgのご協力を頂き、誠にありがとうございました。また、昨年来より継続し乳製品消費にご協力して頂いている組合員の皆様に重ねてお礼申し上げます。

今後乳製品の消費拡大を継続的に進め、適正な在庫量に回復するため、内外の消費拡大運動を続けて参りますので皆様のご理解ご

協力をお願い致します。

また、二月のキャンペーンの代金は、三分乳代（四月十七日購買売掛金）にて精算させて頂きます。



東西南北

那須高原支所

第四回支所ボウリング大会

那須高原支所活動推進協議会（渡辺信一会長）主催による第四回支所ボウリング大会が平成十八年二月二十二日に那須塩原市内の二会場にて一五六名（男性九八名・女性五八名）が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

競技終了後、表彰パーティー会場へ移動し、表彰式・懇親会が行われました。渡辺信一会長挨拶・臼井勉副会長乾杯と続き、男女別個人表彰が和やかに行われ、中国からの研修生が飛び賞を獲得し、その感想内容に多くの方々から喝采を浴びるなど、参加者相互で親睦をおおいに深め、大盛況の中終了となりました。

尚、上位入賞者は次の方々でした。
《男性の部》

- 優勝 小針 結城
- 準優勝 田代 和一
- 第3位 渡邊 透

《女性の部》

- 優勝 斎藤日出子
- 準優勝 蓮見 京子
- 第3位 三浦 京子

宇都宮支所

新春の研修会開催について

年も明けての一月十三日、塩谷地方農業共済組合大会議室（さくら市）にて、宇都宮支所活動推進協議会（小林幸雄会長）による健康管理と税務対策の研修会が開催されました。

午前の部では、県北健康福祉センター管理栄養士の樋渡朋子さんが成人病の怖さと、それを予防するバランスの良い食事と毎日を健康で楽しく過ごしましょうと、スライドと食事バランスシートでわかり易く説明されました。



続いて、保健師の青木麻衣さんの指導で、那須きらピカダンベル体操を三百六十五歩のマーチに合わせ参



加者全員でリズム良く和気あいあいに楽しみました。
午後の部では、県農業会議の高田主幹に税務関係の

お話をしていただきました。簡易課税か一般課税かの選択基準・法人化への判断の目安・意外と利用されていない所得控除など耳寄りな話題も用意してくださいました。来るべき青色申告の時期に備えてか、皆様に午前中とは別人のような真剣な面持ちで耳を傾け意義のある研修会でした。

牛も人間も経営も健康な牧場を目指し、無駄のない経営をするための一助にして頂けたら幸いです。

栃木県南支所

会計ソフトを利用した青色申告学習会

河内南部下都賀地域酪農組合（大阿久要組合長）では、毎年青色申告時期（一・二月）にソリマチ農業ソフトを利用している青色申告者（十二名）を対象に、支所会議



室を利用し学習会を実施しています。講師に都賀町の組合員、根本壽一氏（ソリマチ農業ソフト認定インストラクター）、石川明氏のご協力により開催され、参加者各自が持参したノート型パソコンを使



用し、消費税の取扱いに関する学習・青色申告決算書の作成等に各々取り組んでいます。

また、講師・参加者からは、酪農とちぎのシステムから乳代精算データ等の提供の早期実現と、固有の科目体系等にも対応出来るシステム開発をして欲しいとの要望もありました。

会計ソフトを利用した経営管理は、現代酪農を支える手段として益々必要になっており、今後も定期的に学習会を開催し効率的な酪農経営の一端を担いたいと思います。



部課だより

生乳販売課

一月度、生乳生産量

前年比一〇一・九%

一月度の生乳生産量は、一七、九九一トン（前年比一〇一・九%、計画比一〇一・一%）と十月以降堅調に推移し、前年を上まわる生乳生産量となりました。

支所別にみると、那須高原支所においては前年比一〇三・二%、宇都宮支所九九・九%、県南支所一〇〇・四%の実績となり、那須高原支所の生乳生産量の伸びが見受けられます。

関東においては、前年比九九・三%で累計では九八・六%と前年を下回る実績となっております。

一方、全国の生乳生産量においても前年同月比一〇一・三%（累計比一〇〇・二%）と徐々に回復

基調が見受けられます。

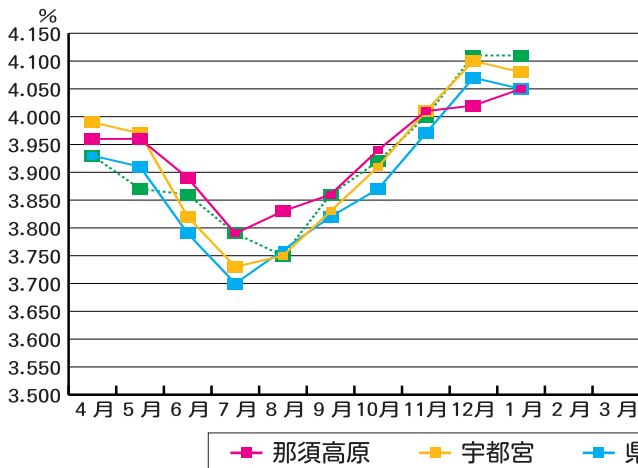
関東の十一月の特定乳製品向けについては一一・五四%（前年九・二六%）と前年を大きく上回りました。飲用牛乳向けは三・七%の減と飲用需要の停滞が続き気になるところです。

組合における乳質成績は、脂肪率が前年同様四・〇六%、無脂固形分率は八・八三%となりました。細胞数については前年値を下回る（二二・七万）好成绩となりました。

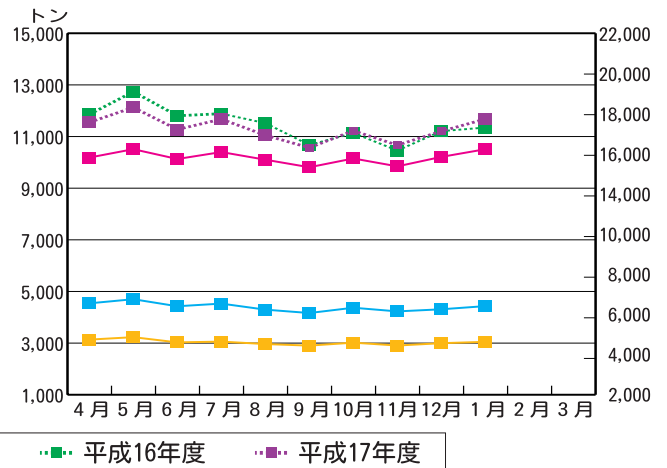
一月迄の乳量及び乳質成績は下記のとおりです。

また、生乳生産は前年を上回る水準まで回復しましたが、飲用消費は依然停滞傾向にあります。今後も更なる消費拡大運動を行なつてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

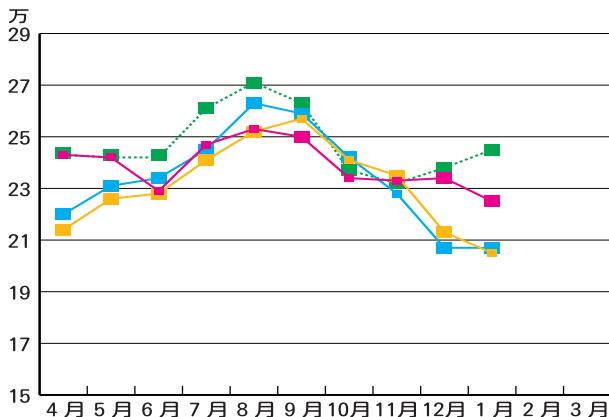
◆ 脂肪率の推移



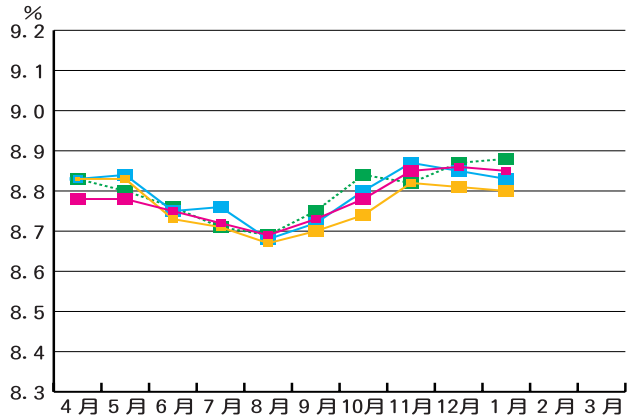
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



酪農部

栃木県酪農発表会

平成十八年二月三日、宇都宮コンセーレにて第三一回酪農発表会が開催されました。多くの参加者を前にして五名の発表者が、日頃の取り組みや酪農に対する想いを発表されました。当組合代表として、酪農に関する意見・体験発表部門に高橋智美さん、猪内勝利さん、松本昭彦さんが発表しました。



左より植木委員長(今市市)、渡邊さん(栃酪)、猪内さん(那須町・大江牧場)、高橋さん(真岡市)、増子さん(栃酪)、松本さん(宇都宮市)

高橋さんは「親子三人の夢と希望に向けて」と題し、両親と高橋さんの三人で効率的に仕事をするために導入した「キャリロボ」と「マックスフィーダー」の効果について言及しました。また、情報交換の大切さに触れ、今までの苦労を忘れずに努力を続けたいと締め括りました。

猪内さんは「地域の絆で支えられた新たな酪農」と題し、実習先の北海道で牛舎が全焼し、火災発生から復興までの経験から「酪農経営は個人で行われるが、経営継続のためには地域の支えが必要なこと」と学ばれ、これからは地域の支えとなれるような牧場になることが目標と発表されました。

松本さんは「愛のあふれる牧場をめざして」と題し、自分の歩んだ道、出会いと共に変化する酪農への想い、共進会への憧れを描き、家族や牛達に精一杯の愛を注ぎ、「愛のあふれる松本牧場」が目標ですと発表しました。

厳正なる審査の結果、三月二十九日(水)・三十日(金)に開催される「第三十六回関東甲信越酪農発表大会」(茨城県つくば市 ホテルグランド東雲)に栃木県代表として高橋智美さんが選ばれました。発表者の酪農に取組む熱意と姿勢は参加者に少なからず感動を与えたことでしょう。発表者の皆様、お疲れ様でした。

また、栃木県代表として選ばれた高橋さんには、自信を持って発表大会に臨んで頂きたいと思えます。発表大会には多くの方が応援に来て頂けるようお願い致します。



講演する高橋さん

2月ホクレン初妊牛市場成績

(単位:頭,千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
根室	2月2日	368	465	5	24	119	145	61	14
十勝	2月7日	478	477	11	60	66	158	146	37
豊富	2月16日	281	455	12	29	92	104	34	10
十勝	2月21日	461	473	28	37	94	146	115	41
釧路	2月22日	341	436	38	25	131	110	32	5
根室	2月23日	533	467	18	32	160	186	107	30
北見	2月24日	416	459	21	42	100	173	64	16
合計		2,878	463	133	249	762	1,022	559	153
前月		2,111	488	38	99	319	841	560	254
前年同月		3,029	539	23	34	140	458	1,110	1,264

家畜市場成績

平成18年2月

(単位:円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野	二十五日 ホルス雄	182	-	78,750	12,600	45,340
	F1雄	100	-	234,150	128,100	182,291
	F1雌	92	-	149,100	82,950	118,182
館林	二十七日 ホルス雄	13	83	80,000	53,000	63,462
	F1雄	42	91	247,000	170,000	214,095
	F1雌	23	84	163,000	108,000	139,478



理事会だより

一月度理事会

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金貸付について
- (三) 一月分生産者支払乳価について

ハーフ・タイム



庭先の福寿草が早春の訪れを告げ、季節は三寒四温とともに、桜花に向かって進んでいる。それにしても、今冬の大雪・寒波は生半可でなかったが、気象庁より「平成十八年豪雪」と命名された。異常気象はわが国だけでなく、ロシアでは百年ぶりの零下四十九度の冷寒に、南半球の豪州は熱波に襲われた。

昨年の世界全体の平均気温は、平年に比べ〇・三二度高い歴代二位の暑さとなった。わが国の平均気温も平年より〇・一八度高く、地球の温暖化が依然進んでおり、C削減にもっと努めねばならない。

新年早々の証券取引法違反・米産牛肉輸入の再停止・談合・ホテル改造事件・メール騒動等々、

- (四) 平成十八年度職員採用について
 - (五) 専門委員会開催結果について
- #### 協議事項
- (一) 十二月度及び第三四半期事業実績について
 - (二) 平成十八年度配合飼料・混合飼料及び粗飼料供給別利用奨励措置について
 - (三) 第五回酪農まつりについて

話題は尽きない。確定申告も済み一段落し、話題も弾みハーフタイム（休憩時間）は続く。

「米産牛肉輸入停止問題」は、輸入再開した矢先の出来事であり、消費者は唖然とさせられ、米国の管理態勢のずさんさ、政府対応の不信が問われている。折りしも、国内において二十二頭目のBSEが発生したが、誰一人動揺しないのは、尊い費用と労力を投じて構築した全頭検査、国産牛肉の安全・安心のPRが奏効した証であろう。

トリノ冬季五輪を皮切りに、今年も各種スポーツが始動した。目下、国別対抗野球大会（WBC）が展開されているが、世界一を狙うわが国の戦いに期待したい。大相撲に続き、二十三日からは選抜高校野球が、次いでプロ野球開幕、そして六月にはドイツW杯サッカーと目白押しだ。

不祥事に揺れる高校野球界だが、

- (四) 平成十八年度支払い乳代精算方式の変更について
- (五) 需要期出荷奨励について
- (六) 乳質共励会について
- (七) 乳質保全規定の一部改定について
- (八) 定款附属書組合員投票規定の廃止について
- (九) 遊休資産の活用・処分について

今選抜大会に、本県より二十一世紀枠（地域における野球環境のハインデイを克服し、模範的なクラブ活動として優秀な成績を収めたチーム）に県立工業高校が選抜されたことは朗報である。全員が地元・隣接地の出身で、野球留学生など勿論いない。自転車通学しながら足腰を鍛え、年賀状配達のパイト代で用具を調達するなど地域ぐるみで野球の育成に励み、県大会準優勝・関東大会準決勝進出の成績が評価された。これこそ、真なる高校野球のバックボーン（気骨）でありたい。

この時期は出会いと別離の月でもある。あちこちで卒園・卒業式・入園・入学・入社が行われ、多くの若者が巣立ち新社会人となる。企業においては、決算期に加え退職・異動組で忙しいなか、今年も終戦子の企業戦士達が現役を退く。

(Y)

二月度理事会

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金貸付について
- (三) 二月分生産者支払乳価について
- (四) 販売・総務委員会開催結果について

協議事項

- (一) 一月度事業実績について
- (二) 平成十八年度生乳計画生産について
- (三) 高齢者雇用安定法の改正に伴う対応について
- (四) ふれあい牧場隣接地の取得について
- (五) 旧下都賀支所施設の賃貸与について
- (六) 西那須野事業所閉所について

お知らせ

第三十六回関東甲信越酪農発表大会の開催

意見・体験発表部門で、本組合の高橋智美さん（真岡市）が、栃木県代表に選ばれました。多数の参加研修をお願い致します。

開催日 十八年三月

二十九日～三十日

会場 茨城県つくば市

ホテル グランド東雲